

里だより

No.389

令和5年6月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



施設・後見人・家族情報交換会 (R6.3.30)



利用者健康診断 (R6.4.18・25)



六月号もくじ

(ページ)

施設長より……………1

サビ管より……………2

主任より……………3

職員より・医務より……………4

サービス向上委員会より

行事報告……………5

行事予定・

ありがとうございました

新入職員あいさつ

編集後記……………6



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

高齢化と変化



つくしの里では、施設・後見人・家族情報交換会を行っています。以前は、四月に前年度の事業結果報告、十月に中間報告、三月に次年度の計画を説明していましたが、十月は秋の里まつりに変わり、現在では年二回となっています。

コロナ禍においては三月のみ実施し、密を避け参加者の距離を保てるように大津町の文化ホールをお借りし、時間も午前中の半日にしていました。令和五年三月からは会場を当施設に戻しました。

四月の情報交換会では、私から利用者高齢化の実態を説明させて頂きました。利用される方は十代から九十代までの幅広い年齢と、それぞれの障害特性のため、個別対応の難しさや六十代以上が約四割を占め高齢化が加速していること。年々、高齢者に多い疾患での入院が増えていること。特に十年前の緊急通院の比較では、その差は顕著であることをお伝えしました。高齢化対策として、次の項目をあげさせていただきました。

- 状態観察（身体面・認知面）
- 医療機関・介護保険事業所との連携（病院・言語聴覚士・理学療法士・デイサービスなど）
- 資格取得の推奨、介護技術の習得・研修（介護福祉士など）
- 介護用品の導入（ベッド・歩行器・車椅子など）

また、キーパーソンの引継ぎ・検討（身元引受人・成年後見人）をお願いしました。理由として、平成三年開設当初のご家

族は当時六十代。利用者さんの平均年齢が四十・九歳でした。親亡き後のことを考えて設立された施設ですが、その利用者さん方が高齢となられ、ご兄弟も同様に年齢を重ねられています。身元引受人・成年後見人の殆どが、ご両親のどちらかでしたが、現時点での割合は三十八%で、主に四十歳代以下の利用者さんのご家族です。兄弟姉妹は四十六%、甥姪四%、司法書士・弁護士は十二%となり、両親以外は六十%を超えています。四月一日時点での入所利用者さんの平均年齢は五十五・七歳。利用者さんも周りの方々も（私も）年齢を重ねました。言い方が大変失礼かもしれませんが、私も含めて健康面で何が起ころうもおかしくない年齢にあります。もしものことを考えて、キーパーソンとなられる身元引受人・成年後見人について、今のうちにご家族で話し合っただけだと思います。

今回のデータとコロナ禍の状況をあわせて振り返ってみると、以前は、ご家族（ご両親）同士では知らない方はいらつしやらない状況でしたが、身元引受人が引き継がれると、ご家族間での交流はおろか、顔も知らないという状況が増えているようです。コロナが重なる、担当の職員は知っているけれど、他は知らない。逆もありきの希薄な状況に拍車をかけます。これは、職員間、施設と地域間等々にも及びます。私たちの反省も踏まえ、つくしの里のイベントに行っても、知らない人ばかりで話し相手がいらない。行きづらく足が遠のくということがないような取り組みも必要だと考えさせられました。少しずつでも新しい関係性を築きあげられるようにしたいと思いますので、ご協力とご助言・ご指導をお願いいたします。

施設長 松永一博

サビ管より

つくしの里に入職し、二十七年目となりました。今は、多くの職員を育成する、マネジメントする立場となりましたが、入職した当時は、社会人として：仕事とは：そのような言葉すらまともに考えもしない姿勢で支援者としての生活がスタートしたように思います。

一年目、農業班に配属され、十五名ほどの利用者さんと農業や環境整備を毎日の活動として取り組んでいました。

実家は兼業農家でしたが、正直、農業にはほとんど触れておらず、野菜ひとつ育てたことも無く、農機具の扱いも未経験。不安しかなく、自分が思い描いていた利用者支援、施設での仕事とはかけ離れているように感じていたことを覚えています。

自分が抱く不安を他所に、担当させていただいた利用者さんのお一人に、私の事を探りながらも気さくに声をかけてくれる方がいらっしやいました。何もかもが分からず、落ち着かない状況の中にも、ほっとする安心感があつたように思います。

その方とはよく話しが出来るようになり、次第に自分の家族のことや好きな野球のこと、出かけたことや必要に思っているもの等々、たくさんのことを話していただけるようになりました。勿論、いい話ばかりではなく、不安に感じることや気になることがあると、いら立ちから暴言にもなり、他者とトラブルにもなりがちな方でした。

しかし、トラブルになつたり不安定になられても、なぜか私の話はしっかり聞いてくれました。ご本人との関わりにおいて、何か特別な感じがあつたわけではないし、今でもその理由は分

かりませんが、担当を離れてからも私を頼りにしていただくことに変わりありませんでした。

そして現在、ご本人は七十六歳となりました。今は当法人のグループホームでお過ごしいただき、日中は介護事業所を利用されています。毎日顔を合わせることはなくなりましたが、それでも頼りにしていただいていることを感じます。大変ありがたいことですし、ご利用者との関わりが、大きく間違っていないかつたものと励みにもなっています。

しかし、身体の状態により、特別養護老人ホームへ移られることとなりました。ご本人にとって最善は何かを考えてのことであり、ご本人との縁が途切れてしまふとは考えたくありませんが、正直とても寂しく思います。

様々なケースで、ご利用者との別れがあります。十分なことが出来たのだろうか、楽しかった、よかった、ありがとうと言ってくれているのだろうか：いつも考えてしまいます。いざ別れの時になって初めてその人を知る、気づくこともあり、反省も伴います。

楽しかったことも、そうでないことも、その人らしさを十分に表現していただいた生活であつたならば、上手くお手伝いすることが出来ていたのであれば嬉しいものと思ひ、これからも見失うことがないようにしたいと思います。



支援課長 今田有哉

主任より

「進化する福祉機器」



令和二年の初頭より猛威を振るった新型コロナウイルスの影響で、数年は自粛生活を余儀なくされました。自分たちの生活もその影響を受け、小学生の子どもたちは外で遊ぶ事を覚える時期に遊べなかった事もあり、高学年や中学生になっても、昔に比べると外で遊んでいる姿が少ない気がします。

福祉業界でも、予防の為に家族の方の面会や交流の場（つくりの里では集会室やふれあいルーム・活動場所など）が制限されました。そんな中、個人個人が過ごしやすい環境や一人での時間の楽しみ方、ご家族・利用者さん同士の直接ではない交流の場をどうするか考えてきました。打開策として、リモートでの対応が広まり、遠方においても交流が出来るようになったのではないのでしょうか。

教育や就労では、ネットでの会議・研修・学習が当たり前になり、コロナウイルスが5類になった今でも広く活用されています。又、チャットGPTの様にAIを活用したものも増えてきました。

福祉業界では、多くのテクノロジーの活躍が期待されています。日本知的障害者福祉協会より発行されている『さぼーと』五月号では、進化する福祉機器・デジタル機器の特集が組まれました。その冒頭に「一般的に知的障がいのある人の支援は人と人との直接のコミュニケーションやふれあいの中で進められるものを中心であるため、機械化やロボット化、ICT化の導

入に対しては比較的後ろ向きに捉えられているようです」とありました。高齢化が進む中で、今まであったものを捨てて新しい物を取り入れる事や、環境の変化に不安を覚える人もいると思います。ただ、利用者支援を行う上で、福祉機器やデジタル機器を取り入れる事は、運営面・支援者・利用者・ご家族にとって負担軽減になると思いますし、上手に活用すれば利用者さんも快適な生活が送れるのではないのでしょうか。機会があれば、現在の福祉用具に何かがあるか見て頂ければと思います。

時代の流れによって対応は変わりますが、高齢化社会となり、利用者さんも職員も年齢を重ねるごとに体力面にも不安が出てきます。又、少子化に伴うマンパワーの不足もあります。その分、進化した技術を上手く活用していかなければならないと思います。

個々の想いはそのままに、より良い環境を考えていきます。

主任支援員 山中真史

施設PR委員会 今月の1枚！



またな！

平成3年の開設当初からご利用いただいたNさんですが、高齢者施設へ移られます。また会う日まで、お元気で！

職員より



今年度から3班に異動となりました。11年勤めさせていただいていますが、長い間、いきいきグループに所属していて、3班は初めてです。また、担当の利用者さんも在宅の利用者さんや男性利用者さんという事もあり、不安も少しありましたが、利用者さんを始め、ご家族の方にも優しく声を掛けていただき、毎日楽しく仕事をさせていただいています。

出勤した際に担当の利用者さんからタッチを求められると、受け入れてもらえたのかなと嬉しくなります。まだまだ不安定になられた際の対応に悩んだりする事もありますが、他の職員やご家族にご本人さんの好きな事やどのように対応されているのか等を教えてもらいながら、落ち着いて利用していただけるように頑張っていきます。

(支援員 村上マ)

5月といえども日中は肌が火照る感じがして、暑くなったと思う瞬間があります。しかし、夕方は一転して肌寒く、上着が欲しくなります。利用者さんからも「暑かあ」、「(でも)夕方は寒かね」、「(冷えてるので)エアコンの温度を上げて」など、寒暖に関する言葉が飛び交います。また、今の時期は服装選びが難しい時期でもあります。特にいきいき班の利用者さんの中には、ご自身の中で困られている状態で表現されない方も少なくありませんので、職員は十分に気がける必要があります。これから夏が訪れますので、暑い日のこまめな水分補給に気をつけていきます。

(支援員 後藤シ)



医務より

コロナが5類に移行し、5月8日で1年が経ちました。重症化率も下がり、流行は続いています。感染者数も多くはなっていないようです。感染対策は個人の判断になり、当施設でも今年度4月よりマスクの着用は利用者・職員とも任意になりました(人混みや病院受診の際、流行が見られるときは着用します)。ワクチンは、昨年度までは接種費用は無料でしたが、4月からは65歳以上の人と60~64歳で重症化リスクの高い人を対象とした定期接種になっています。秋から冬にかけての接種になるようなので、案内がきましたらお知らせしたいと思います。

(看護師 松村)

~令和6年度 健診のお知らせ~

- 利用者健康診断 (4月18日・25日に終了)
- 歯科検診 (4月~6月にかけて実施)
- 大津町がん複合検診 (10月予定)
- 2回目の健康診断・インフルエンザ予防接種 (11月21日)



サービス向上委員会より



■ 事故防止【主任支援員 山中・支援員 松尾リ・小城・瀬形】

今年度より新しく事故防止委員会が加わりました。

事故が多い場所や種別を検証し、どのようにしたら再発防止に繋がるのかを考えていきます。少しでも施設内の事故を減らし、利用者の皆さんが日々の生活を安心して過ごせるようにします。

行事報告 ※ 4/21 (日) ~5/20 (月) の実施分について報告いたします

★ 利用者健康診断【4月18日(木)・25日(木) つくしの里】

令和6年度最初の健診が無事に終わりました。健診項目は、身体計測・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図検査・視力検査・聴力検査・診察です。結果は、揃い次第お返ししたいと思います。健診当日は、朝から食事が無いこともあり、皆さん少しソワソワ気味。健診が始まると、セントラル病院職員さんの誘導のもと、スムーズに動かれて時間通りに終了することができました。
(看護師 松村)

★ 施設・後見人・情報交換会【4月27日(土) つくしの里】

当日はたくさんのご参加ありがとうございました。令和5年度の事業結果を主に報告させていただきました。昨年度までは新型コロナウイルスや職員数の減少などで、なかなか明るいご報告が出来ない状況が続いておりましたが、今年度は7名の新入職員を迎える事が出来て、明るい新年度のスタートとなりました。

コロナ禍では、ご利用者さんに我慢して頂く事も多かったように思います。出来る限りコロナ前の状況に近付け、追い越せの精神でがんばっていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。(主任支援員 平田)



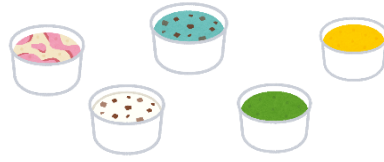
行事予定

☆ アイスクリーム会 (つくしの里)

期 日：6月13日 (木曜日)

内 容：阿蘇天然アイスさんから訪問販売に来ていただきます♪

たくさんのフレーバーから好きなものを選んで味わいたいと思います。



☆ 生活介護⑤班外出 (菊池市)

期 日：6月18日 (火曜日)

内 容：温泉と食事を楽しむ予定です



ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和六年四月二十一日～

令和六年五月二十日です



【寄付・寄贈】

- ・今坂 桂子 様
- ・清田 すま子 様
- ・米田 政輝 様
- ・下村 一恵 様
- ・田代 千恵子 様
- ・藤野 幸子 様
- ・光永 順子 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・尾田 一広 様
- ・お菓子の香梅 様
- ・相談支援センターみんと様



【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・丸山 典子 様
- ・トキロロ 様
- ・カモメ 様
- ・木本 ふじ子 様



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等ございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

新入職員あいさつ

五月一日付で一名の職員を迎えました。
この場を借りてご挨拶申し上げます。

【支援員 いきいきグループ】

○牛島 正人 (うしじま まさと)

前職はアパレル業界に二年間勤務して
いました。福祉業界に関する知識や経験
はありませんが、新しい環境で学び、成
長することに熱意を持っています。学び
の姿勢を大切に、新たなチャレンジに
対して積極的に取り組んでまいりますの
で、ご指導とご支援のほどお願い申し上
げます。不慣れな点もあるかもしれませ
んが、誠心誠意努力し、貢献できるよう
精進してまいります。

編集後記

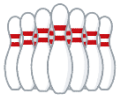
五月は晴れた日が多かったので、利用
者の皆さんも館外での運動やドライブ、
外出を楽しみました。

梅雨入りが近づいています。天気予報
によると、警報級の大雨になる恐れもあ
るようです。今の内に雨樋や側溝掃除な
どを済ませ、ハザードマップを確認して
災害に備えたいと思います。

5月の出来事



いきいきグループ誕生会
(4・5月誕生者)



チャリティーボウリング大会



新入職員研修:トロミ剤の使い方

